

インドネシアへの牛肉輸出解禁！

～ ジャカルタで熊本県知事がトップセールス ～

シンガポール事務所

熊本県は日本貿易振興機構（ジェトロ）と共催で 2015 年 1 月 20 日（火）に「熊本産和牛の輸出解禁イベント」を開催し、蒲島郁夫熊本県知事によるトップセールスを実施しました。シンガポール事務所は、運営スタッフとして支援を行いました。

1 国内初のインドネシア向け輸出施設

平成 16 年 6 月以降、インドネシア政府との間で進められてきた牛肉輸出解禁のための二国間の検疫協議が終了し、インドネシアへの牛肉輸出が認められることとなりました。インドネシアに牛肉を輸出するには、インドネシア農業省家畜・動物健康総局（DGLAHS）及びイスラム導師評議会（MUI）の認定を受けた輸出施設で処理（全てハラール方式で処理）されることが必要です。2015 年 2 月 10 日現在、国内でインドネシア向け牛肉輸出の認証を受けた処理施設は、全国開拓農業協同組合連合会人吉食肉センター／ゼンカイミート株式会社（熊本県）1 か所のみとなっています。当該処理施設は 2012 年に牛肉でのハラール認証を国内で初めて取得し、インドネシアへの輸出準備を進めてきました。



熊本を PR する知事

2 輸出解禁！熊本県産ハラール和牛



くまモンのパフォーマンス

県紹介レセプションでは地元小売業、レストラン等の飲食業経営者など約 200 人を招いて試食会が開催され、熊本県の蒲島郁夫知事が「日本の牛肉を熊本から発信できることが誇りだ。熊本のきれいな水を飲んで育った和牛はとてもおいしい。」と語り、インドネシア側のパートナーを増やして輸出増加につなげたいと意欲をしめしました。インドネシア人

参加者からは「ハラールなので安心」「食感が非常に柔らかくてとてもおいしい」と好評でした。会場には球磨焼酎（米焼酎）やラーメンといった熊本特産品コーナーも設置され、

イスラム教徒でない参加者に PR しました。また、観光案内も併せて行われ、インドネシアの METRO TV（地上波）で人気の番組「Kokoro No Tomo」が紹介する熊本旅行ダイジェスト版が放映されました。

3 今後の販路拡大に向けて

国民の約9割がイスラム教徒であるインドネシアでは、豚肉が禁じられていることから、食肉消費のほとんどが鶏肉と牛肉によるものです。経済成長著しく、世界第4位となる2億3800万人の人口を抱える巨大市場において、今後さらなる牛肉消費量の伸びが期待されています。熊本県ではインドネシアへの和牛の輸出を毎月40トンにまで増やし、消費の中心となる富裕層をターゲットに販路拡大を図っていききたいとのことでした。



試食会の様子

（岡田元所長補佐 熊本県派遣）